

## 二市連携 I C T 活用保育事業について

## 1 事業の背景・概要

全国的に待機児童対策の拡大、保育士の低賃金や事務量の増大等により、慢性的な保育士不足の状態が続いている。

その中で、岐阜県美濃加茂市と連携して、保育現場で I C T（情報通信技術）を活用して、保育の充実及び保育士のスキルアップを図ることができないかを探る事業である。

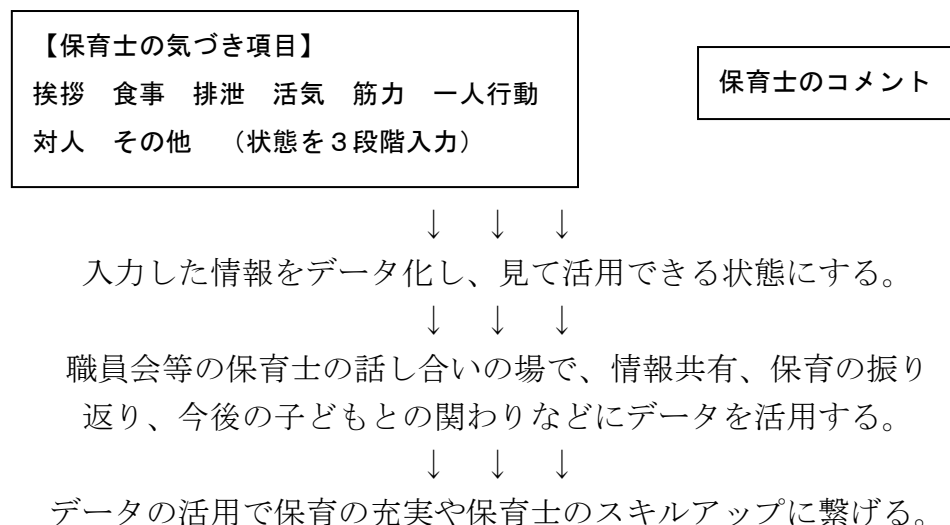
具体的には、日々の保育における保育士の子どもに対する「気づき」を見える化し、子どもたちの状態の変化を客観的に評価する「保育版状態把握システム」の開発と、その具体的利用可能性及び効果的な評価指標を探るための実証実験、成果発表を通じた普及展開を行う事業である。

なお、当該システムは、先進地（沖縄県宮古島市・香川県小豆島町）において既に導入・活用実績のある介護現場における I C T を活用した状態把握プログラムを保育現場に導入しようとするものである。

当該事業は、国の地方創生加速化交付金採択事業で、先進性や地域間連携が評価され、事業化されたものであり、美濃加茂市がシステムの開発を担い、地域性の異なる二市が連携し、地域間・施設間比較を行いながら実証実験を行うことで、システムの精度や品質、導入に向けた課題等を明らかにできる。

## 2 保育版状態把握システムについて

日々の保育の中で、保育士がそれぞれの子どもについて気づいたこと（気づき項目）を、保育に支障のない時間に、システム専用のスマートフォンやタブレットに入力する。



### 3 事業の実施状況について

①対象園 米子市：公立保育園2園、私立保育園等2園  
美濃加茂市：公立保育園4園

②対象園児 3歳児クラスの園児

③業務委託先 一般社団法人気づきデータ解析研究所

#### ④スケジュール

平成28年9月まで	業務分析・設計・導入準備
平成28年10月	実証実験（STEP1） 入力・データ活用→検証→システム改修
平成28年11月	二市広域連携会議
平成28年12月	実証実験（STEP2） 入力・データ活用→検証→システム改修
平成29年3月	最終報告セミナー

